

災害ボランティアセンターで使用する資機材の保管場所の貸与に係る覚書を締結します ～事業者との連携による災害時のボランティア体制の強化へ～

千葉市は、本市が被災する事態に備え、市社会福祉協議会とともに、災害ボランティアセンターの機能充実に向けた取り組みを進めています。

このたび、本市と包括連携協定を締結している事業者との新たな取り組みとして、災害ボランティアセンターで使用する資機材の保管場所の貸与に係る覚書を締結しますので、お知らせします。

1 概要

本市では、災害ボランティアセンターの設置・運営に備え、市社会福祉協議会はボランティアに貸与する資機材（スコップやリヤカーなど）を計画的に整備し、市は保管場所の確保に協力しています。

現在、保管場所は市内1カ所となっており、以前から災害時の迅速な活動のための分散保管が課題となっていました。

このたび、本市と包括連携協定を締結しているJFEスチール株式会社東日本製鉄所（千葉地区）および生活協同組合コープみらいと、当該協定に基づく取り組みとして、それぞれの事業者と市および市社会福祉協議会の三者間で、災害ボランティアセンターで使用する資機材の保管場所の貸与に係る覚書を締結するものです。

2 覚書締結の相手方

JFEスチール株式会社 東日本製鉄所（千葉地区）
生活協同組合コープみらい

3 覚書締結日

令和7年4月1日（火）
※覚書の締結式は実施しません。

4 覚書の概要

資機材の保管場所として、それぞれが保有する施設の一部スペースについて、無償で貸与を受けるものです。

＜参考＞

1 災害ボランティアセンター

災害時に被災地に設置され、被災地での防災ボランティア活動を支援する拠点となります。

本市では、令和3年4月1日に市社会福祉協議会と「千葉県災害ボランティアセンターの設置等に関する協定書」を締結しており、本市が被災した際に、必要と認める場合は、市社会福祉協議会に災害ボランティアセンターの設置・運営を要請し、市社会福祉協議会が運営することとしています。

2 J F E スチール株式会社について

J F E スチール株式会社は、鉄鉱石を原料に最終製品の生産までを一貫して行う世界トップクラスの鉄鋼生産規模を持つ鉄鋼メーカーです。「常に世界最高の技術をもって社会に貢献します」という企業理念の下、社会ニーズに応える鉄鋼製品をグローバルに提供しています。

J F E スチール株式会社東日本製鉄所は、京葉臨海工業地域に、戦後、日本で初めて建設された鉄鋼一貫の臨海製鉄所で、最先端の技術と設備を生かし、高級薄板鋼板を主体に製造しています。

令和6年3月27日に「千葉県とJ F E スチール株式会社東日本製鉄所（千葉地区）との包括的な連携に関する協定書」を締結しました。

3 生活協同組合コープみらいについて

千葉県、東京都、埼玉県を活動地域とする生活協同組合で組合員数は約381万人（令和7年2月現在）。「CO-OP ともにぐくむくらしと未来」を理念に、組合員に対する宅配、店舗、福祉事業などのほか、持続可能な社会の実現を目指し、様々な取り組みを展開している。

令和5年11月28日に「千葉県と生活協同組合コープみらいとのSDGs推進に向けた包括的な連携に関する協定書」を締結しました。